

上司が部下に求める3つの要素① 責任感があること

上司が部下に求めているものを知る

上司や部下に限らず、**人は相手に対して何かしらの期待をしている**

例)

恋人の場合：連絡はマメに返してくれるだろう

友人の場合：困ったときは相談に乗ってくれるだろう

期待から外れてしまった場合

⇒信頼関係は構築されない

この人は違うと思われてしまう

期待通り、期待以上だった場合

⇒信頼関係が構築されていく

上司の求めていることを知ることが
信頼関係を構築する上で最も重要なことの
1つ

上司が部下に求めていること①

1：責任感を持って仕事に取り組むこと

どういう状態が責任感を持っている状態なのか？

- ①「組織の目標を達成しようという意欲が高い状態」
- ②「自分の役割を全うしようとする状態」

この状態で働く部下を持つ上司の心理

⇒「安心して仕事を任せられる」

どちらが頼りになる存在か

あなたは若手社員をまとめるリーダー
上司から「忘年会を盛り上げて欲しい」と言われ
若手社員をまとめてダンスを披露することになった



若手社員Aさん

「皆にすごい！と思ってもらえるように
頑張りましょう！動画や資料等を探して
色々観て勉強しておきますね！」



若手社員Bさん

「めんどくさくないですか？
今忙しいんですよ。」

⇒Aさんは上司（リーダー）と
同じ視点・目線・モチベーションで
働いてくれる部下



⇒上司にとっての味方であり
頼りになる部下として見える

上司と同じレベルの責任感を持っている部下に対して「頼りになる」「居てくれてよかった」と上司は感じる。

**責任感を持って仕事をするにはどうすればいい
のか？**

→与えられた仕事に対してのモチベーションをあげること。そのためには自分が頑張ることに対して、意味付けをすることが重要。

日々の業務の目的、組織の目的を確認すること

次回の学習テーマ： 上司が部下に求める3つの要素①
責任感があること